

事例 12

茶園を支える農免農道

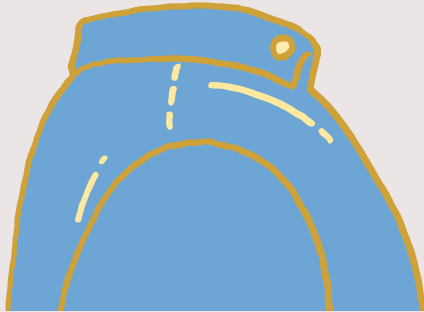
～農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業「上の台地区」～

[伯太町]



【地区の概要】

事業年度 平成2年度～平成12年度
 事業費 1,184,500千円
 施工延長 3,183m
 幅員 有効幅員4.0m
 全幅員5.0m

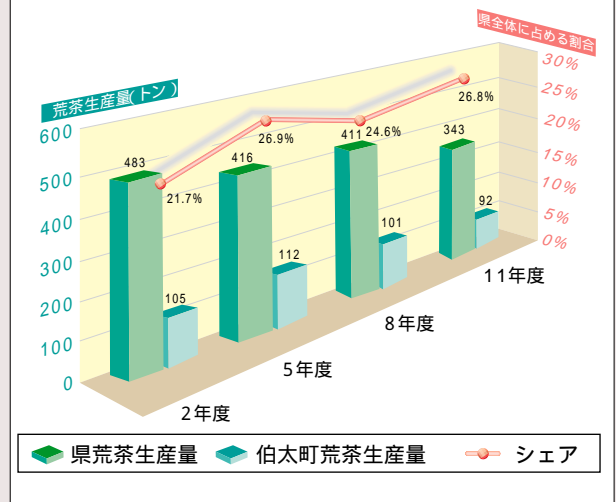


本地区は伯太町の中央部に位置する山間農業地帯です。農道の沿線では特産の緑茶栽培が意欲的に取り組み、県下最大の生産団地が形成されていますが、2メートル程度の砂利道しかなく多大の営農努力を強いられていたため、本事業により基幹農道の整備を実施し、平成12年度に完成しました。

農道が完成し、今後輸送コストの縮減や通作時間の大幅な短縮が図られました。

さらに、このことが栽培管理の徹底等による品質の向上・増産を促し、現在、「伯太荒茶」として生産量・収益とも県内第1位を誇るお茶の生産振興が期待されます。

伯太町の荒茶生産量（県内第1位）

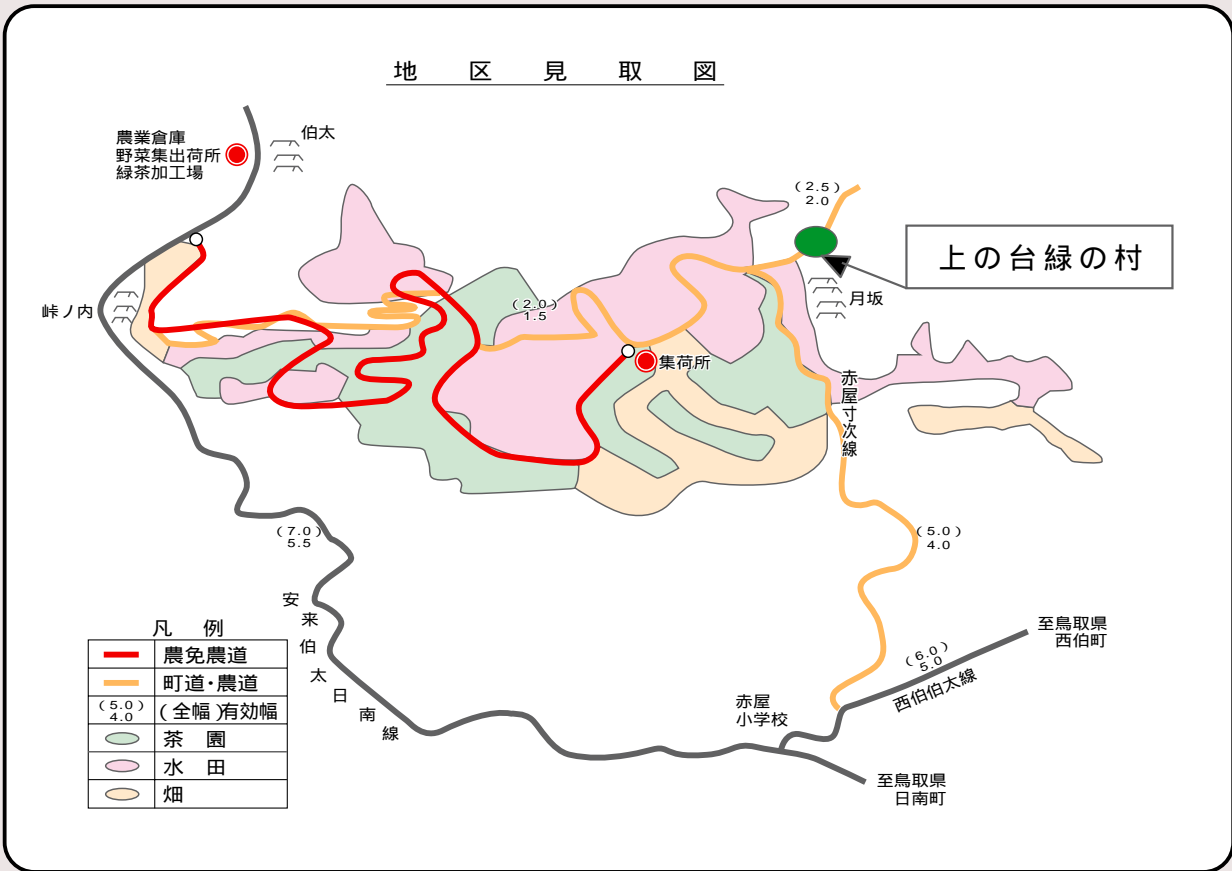


農道の効果例 [農家から茶園(集荷所)までの通作時間の短縮]

区分	距離	走行速度 (軽トラック)	時間	戸当り年間通作 時間(250回/年)	備考
現況	5.23km	20km/h	16分	131時間	その他、輸送の効率化、安全性・快適性の向上等の効果がある。
改良	3.18km	40km/h	5分	40時間	
効果	2.05km (短縮)	20km/h (上昇)	11分 (短縮)	91時間 (短縮)	

戸当り年間通作時間は農家が計画路線全線を利用することとし、樹園地経営農家の平均年通作回数250回を乗じて試算

地区見取図



上の台地区見取図



茶園を走る基幹農道

輸送の合理化、栽培管理の利便性の向上が図られます。

農道の効果例

[交流施設(上の台緑の村)へのアクセス改善]

交流センター、コテージ、人工芝スキー場、バーベキューハウス、テントサイト、駐車場等が整備され宿泊もできゆったりと楽しめる施設が完備しています。また、日曜日には新鮮野菜等の市が開催され多くの人に利用されています。

入場料の無料化を行っており、特に夏季には多くの入場者がありますが、鳥取県西部地震以降安全のため宿泊を断るなど地震の影響があり、農道によるアクセス改善効果が期待されています。



上の台緑の村